

みんなではじめよう！ごみダイエット。

突然ですが、ここで、環境コラムでお馴染みのななちゃんからクイズです。



「これらのものは、何のごみとして捨てればよいでしょうか？」
ヒント：4月から分別方法が見直されたよ。



①カセットテープ
②革靴
③瓦
④釘・クリップ
⑤ビクリボール

（あ）の思（う）ふ（こ）ろ（を）こ（ろ）に（は）い（て）お（も）て（ま）せ（て）
（あ）の思（う）ふ（こ）ろ（を）こ（ろ）に（は）い（て）お（も）て（ま）せ（て）
（あ）の思（う）ふ（こ）ろ（を）こ（ろ）に（は）い（て）お（も）て（ま）せ（て）
（あ）の思（う）ふ（こ）ろ（を）こ（ろ）に（は）い（て）お（も）て（ま）せ（て）
（あ）の思（う）ふ（こ）ろ（を）こ（ろ）に（は）い（て）お（も）て（ま）せ（て）
（あ）の思（う）ふ（こ）ろ（を）こ（ろ）に（は）い（て）お（も）て（ま）せ（て）
（あ）の思（う）ふ（こ）ろ（を）こ（ろ）に（は）い（て）お（も）て（ま）せ（て）
（あ）の思（う）ふ（こ）ろ（を）こ（ろ）に（は）い（て）お（も）て（ま）せ（て）
（あ）の思（う）ふ（こ）ろ（を）こ（ろ）に（は）い（て）お（も）て（ま）せ（て）
（あ）の思（う）ふ（こ）ろ（を）こ（ろ）に（は）い（て）お（も）て（ま）せ（て）

ごみの減量は、まず、分別の徹底からです。分別方法を再確認しよう。

今年の4月から、平成15年4月に発行された「ごみ分別の手引き」を見直し、ごみ分別の一部を変更しました。

3月にみなさんの家庭に変更のお知らせチラシを配布していますが、もう一度ごみカレンダーなどでご確認くださいようお願いいたします。

今回の見直しで埋立てごみが増えました！

硬いプラスチックでできているものは、従来は燃えるごみとして出せるものもありましたが、見直しにより埋立てごみになりました。

ごみは、材質別に分別しましょう。

複数の材質でできているものは、できるだけ材質別に分解し、分別し出してください。

ごみを分別すると、ごみが減ります。ごみの再資源化、再利用化の推進にもつながります。みなさん一人ひとりの取り組みが大切です。ごみの減量・リサイクルの推進にご協力ください。



ごみ減量化に取り組み、
エコの輪を広げよう。

「ごみダイエットなどに
取り組む市民のみなさんを紹介」

楽しいごみダイエットを提案したい！



快適環境づくり市民委員会
和倉久勝さん（生駒町）

まず。今年度は、ごみダイエットの壁にぶち当たっている方に楽しくできる方法を提案したり、ごみダイエット以外にも、地球温暖化対策としてなにかできることがないか検討したいと話してくれました。

市では、快適環境づくり市民委員会を設置しています。この委員会は、全町内会、関係諸団体などから結成されています。事務局長を務める和倉さんは、市民が健康で快適な生活環境を保全するため、その普及運動に努めています。

委員会では、数年前からごみ減量化推進事業などに取り組み、「ごみダイエット作戦」や「ごみ分別講習会」などを各町内会に呼びかけてい



生ごみの堆肥化に挑戦!



一本杉通りごみゼロ推進委員長
 麩谷謙一さん（一本杉町）

麩谷さんの住む一本杉町は、平成16年9月に「一本杉通りごみゼロ宣言」をしました。未来の子どもたちにきれいな環境を継承するため、2020年までに、ごみをゼロにするというものです。この目標に向かって、住民一丸となって取り組んでいます。

一本杉町の可燃ごみの減量化は、生ゴミの水切りや分別の徹底などで進んでいます。さらに減量を推進するため、ごみゼロ推進委員長を務める麩谷さんは、現在、段ボールコンポストで生ゴミの堆肥化に挑戦し、4月から取り組んでいます。

この方法を試してうまくいったら、町会のみなさんにも伝え、町から地区へ、地区から七尾市全体へ広げていきたいと話してくれました。

段ボールコンポストの作り方

【材 料】

- ①段ボール箱（底を二重に）
大きさは40%
- ②ピートモス（泥炭ごけ）15%
- ③もみがらくん炭 10%
- ④温度計
- ⑤箱を覆う、虫除け用の布

【作り方】

- ①段ボール箱は、透き間を通気性の良い紙テープでふさぐ。（虫の侵入を防ぐため）

- ②③と④を段ボール箱に入れる。
- ③これに、生ゴミを入れて混ぜるだけ。一回に入れる量が500グラム以上の場合、しっかりと混ぜる。
- ④中の温度が10度以下になると、微生物の活動が鈍るので注意。
- ⑤3ヶ月を目安にごみを加えるのをやめ、2～3週間乾燥しないよう水を毎週1回1リットルほど入れる。
- ⑥最後に入れた生ゴミが分解し終われば堆肥のでき上がり。



麩谷さんの段ボールコンポスト。においがほとんどしません。

海岸の漂着ごみを清掃



東湊地区町会連合会
 寺坂政憲さん（殿町）

寺坂さんは、地域の人にゴミ減量化に対して関心を持ってもらうために、いろいろな取り組みを提案しています。

この日は、東湊地区町会連合会と東湊公民館が合同で大田町の此ノ木海岸の清掃を行いました。あいにくの雨でしたが、住民約70人が参加し、海岸線約400メートルを清掃しました。集まったごみは、埋立てごみ240kg、可燃ごみ220kg、その他ごみ40kg、合計500kgにもなりました。

今後はごみダイエット作戦などにも積極的に取り組んでいきたいと話してくれました。

みなさんいかがでしたか？
 ごみについて、考えるきっかけになりましたか。ごみ問題について、一人ひとりが少しでも気をつけることで、そのあとの結果が大きく違ってきます。

地球にやさしい方法で快適に暮らす方法をみんなで考えていきませんか？

ごみなど環境に関するお問い合わせ
 環境安全課 ☎53-8421

エコ豆知識 知らない携帯電話が資源に変わる…1トンの使用済み携帯電話から280gの金がとれる。